

短期
103

古文書学のこれから ～ AIを駆使、進化する学問 ～

オンライン併用

【定員】 150 名 【オンライン定員】 100名 【受講料】 2年会員 3,350円、1年会員 3,770円、聴講生 5,020円

短期集中 【時間】 毎回 16時30分 ～ 18時00分 (計 3回)

概要

水と油の融合の象徴が学問レベルで実現。そんな内容が眼前に展開するとしたら？ AIを駆使した古文書読解の進化には、目から鱗の連続です。あたかも職人技の独占を開放させる科学の力をお楽しみに。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(木)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	古文書学のイロハ、学問ツールとしても古文書読解	鶴見大学名誉教授 石田 千尋
2	4/17(木)		生成AIと人間 ～ 学問領域の裾野を拓く	東京大学 大学院総合文化研究科 浅野 輝
3	5/22(木)		AIを活用した古文書解析の可能性	情報・システム研究機構 人文学オープンデータ共同利用センター センター長 北本 朝展